

原木及び木材製品の流通に関する見通し調査(平成26年12月実施分)

- 1. 調査対象 道産針葉樹原木の消費量が概ね年間1千m3上の製材工場及び合板工場(調査対象工場数:120)
- 2. 調査実施時期 平成26年12月
- 3. 調査の内容 (原料在庫状況)前年同時期と比べた認識について選択式(「多い」「少ない」「変わらない」)により調査
(製品の荷動き)前年同時期と比べた認識について選択式(「良い」「悪い」「変わらない」)により調査

4. 企業判断指数の算出方法

$$[(\text{回答全体のうち「多い」「良い」と回答した企業の比率}(\%)) - (\text{回答全体のうち「少ない」「悪い」と回答した企業の比率}(\%))] \times 100 / (\text{最大値}100 - \text{最小値}-100)$$

5. 調査結果(回答工場数:98社 / 回答率:81.7%)

【①原料在庫状況(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6
H26.3	-51	-61	-57	-	-	-
H26.6	-	-17	-28	-30	-	-
H26.9	-	-	-9	-13	-11	-
H26.12	-	-	-	-18	-2	-24

原木在庫量(「製材・木材チップ工場動態調査」より) (m3)

	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6
当年	144,249	169,989	172,959	-	-	-
(前年)	173,072	158,997	150,082	115,438	144,249	169,989
対前年比	83%	107%	115%	-	-	-

(概況)
1~3月期にかけて対前年比で回復するものの、それ以降は依然として不安が残る。

(回答企業の主なコメント)
潤沢に入荷予定/原木は動くが価格は下げ基調/去年よりはマシ/20cm以上の原木は高値にあると共に不足

【②製品の荷動き(トドマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6
H26.3	42	21	6	-	-	-
H26.6	-	23	11	-1	-	-
H26.9	-	-	18	-6	-27	-
H26.12	-	-	-	-10	-43	-20

原木消費量(「製材・木材チップ工場動態調査」より) (m3)

	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6
当年	182,082	208,773	215,499	-	-	-
(前年)	166,827	210,223	221,576	223,716	182,082	208,773
対前年比	109%	99%	97%	-	-	-

(概況)
荷動きは引き続き減速傾向の中、特に1~3月期は前年を大きく下回る見通し。

(回答企業の主なコメント)
輸入材が入ってこなくなったため、さほど悪くないだろう/住宅着工減から実需が弱い/荷動きが良くなる要因がない/荷動きは極めて良くない/連休前までは悪い状態が続くそう/今年は厳しい見込み/

【③原料在庫状況(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6
H26.3	-58	-69	-66	-	-	-
H26.6	-	-43	-38	-26	-	-
H26.9	-	-	-6	-13	-10	-
H26.12	-	-	-	-17	-4	-22

原木在庫量(「製材・木材チップ工場動態調査」より) (m3)

	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6
当年	225,777	245,464	248,528	-	-	-
(前年)	276,500	248,342	214,987	172,795	225,777	245,464
対前年比	82%	99%	116%	-	-	-

(概況)
1~3月期にかけて対前年比で回復するものの、それ以降は依然として不安が残る。

(回答企業の主なコメント)
原木搬出は順調になってきた/造材量は回復する見込み

【④製品の荷動き(カラマツ)】

企業判断指数 (太字は調査時点の現状認識、斜体文字は見通し)

調査時点	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6
H26.3	72	45	25	-	-	-
H26.6	-	46	29	6	-	-
H26.9	-	-	35	8	-14	-
H26.12	-	-	-	22	11	13

原木消費量(「製材・木材チップ工場動態調査」より) (m3)

	H26.1-3	H26.4-6	H26.7-9	H26.10-12	H27.1-3	H27.4-6
当年	271,336	318,689	294,446	-	-	-
(前年)	272,583	293,145	280,925	280,344	271,336	318,689
対前年比	100%	109%	105%	-	-	-

(概況)
荷動きは依然として前年を上回る水準となっているものの、今後はやや減速の見通し。

(回答企業の主なコメント)
円安で国産材へのシフトチェンジが進む/本年度中の回復は期待薄/円安等の影響により、製材の受注は旺盛/今年度はある程度目処立っている/荷は動くものの価格の下落があるように推察